

817A

昭和十三年十二月

Ex. No.

昭和十三年度執務報告

機密

課三才局亞歌

No. 1

## 第五節 新南群島

## 一、新南群島帝國領土編入のニ関スル件

## (一) 新南群島ノ位置ト本邦人トノ關係

新南群島ハ南支那海中北緯七度乃至十二度東經百十一度乃至百十七度即チ略佛<sup>領</sup>印度支那西貢ト比律賓巴拉ワン島ノ中間ニ在シ、グワノ<sup>ノ</sup>及燐礦石ノ外各種ノ海産ニ富ム十數個ノ礁島ヨリ成リ其ノ經濟的價值僅少ナラサルモノアルト共ニ南支那海ノ要衝ニ當リ軍事的重要性頗ル大ナルモノアリ本邦人ハ大正六年以來同群島ヲ踏査スルモノ相次キ特大正七年以來「ラサ」燐礦株式會社ハ同礁島ノ「グワノ」及燐礦採取其他ノ資源開發ノ目的ヲ以テ二回ニ亘リ調査シ大正十年ヨリ長島ニ於テ同十二年ヨリ南双子島ニ於テ巨額ノ資本ヲ投下シ永久的諸施設ヲ設ケ同島ノ開發ニ從事セリモ偶々昭和四年施設及採掘「グワノ」ヨリ同島ニ殘シ從業員ヲ一島内地ニ引上ケタリ其ノ後昭和十一年ニ至リ台灣ノ南洋興業會社ハ長島ニ於テ再ヒ諸設備ヲ設ケテ漁業ニ從事セリ

817A

### (二) 新南群島、國際的地位と帝國との關係

外務省ハ昭和二年在支那、佛領印度支那、西班牙、英佛蘭、米國、比律賓等關係在外公館ヲシテ其、所屬ニ付取調ヘシメ凡處同島嶼ハ何國ノ所屬ニモ屬セカル無主ノ地ナルト明ナレル帝國政府トシテ、新南群島ノ領有權宣言ナル形式の手續ヲ執ルコト之ヲ差控ヘタルモ本邦人ニ依ル同島ノ占有及使  
用ハ事實關係ニ重キヲ置キ時期ヲ見テ領土編入ヲ行フノ意思ヲ有シテ、會社ハ昭和五年一時事業ヲ中止シ従業員ノ引揚ヲ行ヒ凡後ニモ帝國トシテ、本群島嶼ヲ拋棄スルノ意思ナリ其後隨時同群島ニ軍艦ヲ派遣セリ

### (三) 佛ノ新南群島領有宣言と我々ノ態度

新南群島と帝國との關係鉅上ノ如クナリニ處昭和八年七月二十四日佛外務省ハ帝國大使館ニ對シ同群島ヲ佛國軍艦ニ依リ占領シタルニヨリ爾今右領土ハ佛國主權ニ歸屬ストノ趣旨ヲ通告シ來リタリ依ツテ帝國政府ニ於テハ群島ノ經濟的及軍

103

事的價值二點、三之ヲ我國ノ領土ニ歸屬セシメ  
 フト好メシカラスト、立場ヨリ佛國政府ニ對シ領  
 有宣言、撤回ヲ考慮スル議、友誼的ニ申入ル佛國  
 ニ於テ之ニ聽從セサル場合ニ於テモ我方トシテハ佛  
 國ノ先占ヲ認メサルノ態度ヲ固持シ問題ヲ解決、  
 儘將來ニ發シ置クコトヲ得策ト認メ同年八月  
 右方針ノ下ニ閣議ノ承認ヲ經テ在佛帝國大使  
 ヲテ事件ニ關スル深甚且友好的ナル考慮方ヲ  
 佛國政府ニ申入レシメタリ然ルニ我方申入レニ對シ  
 佛當局ハ宣言ノ撤回ヲ許セザリシニヨリ爾來我  
 方トシテハ佛ノ領有權ヲ認メストノ態度ヲ持續  
 シ來リタリカ最近ニ至リ佛側ニ於テ積極的措置  
 ヲテ其領有權主張ノ根據ヲ強化セムトスルノ  
 行動ニ出テ來リ

(四) 日佛紛爭發生後ニ於テハ我方ノ方針總々更

上述ノ如ク昭和八年日佛間ニ紛爭ヲ惹起セル際我方  
 トシテハ佛カ宣言ヲ撤回セサル場合ハ佛ノ先占ヲ  
 認メス問題ヲ解決、儘將來ニ發シ置クコトヲ積極

的態度ヲ探知ニ止ム兄處右諸條的態度、儘打  
過兄處ハ佛國ハ我ガ佛ノ地ヲ認メ凡モ、  
ト解三都勢ヲ不利ニ導ク處アリタルヲ以テ同郡  
島ニ再ヒ邦人ノ手ニヨリテ占有三都成事ヲ  
形成ニ他日佛國ニ紛爭再發、際局面ニ有利  
ニ展開セムル、必要ヲ認メ昭和十二年、以來海軍  
ノ軍艦及台灣總督府、援助、下ニ台灣ニ本  
社ヲ有スル南洋興業會社ヲ以テ長島ニ於テ永  
久的設備ヲ設ケテ漢業ニ從事セシメたり

(五) 日佛間紛爭再發

右條方郡島再占有三都之佛國ハ何等意義ヲ  
中興ニシテ力リ之處昭和十二年十二月四日ニ奉佛國  
朝鮮總督島三入港セリト相傳ヘテ、同七日佛外務  
次官ハ杉村大使ニ對シ邦人ヨリ郡島、占有三  
都抗議之九月附以テ外務大臣宛公文ヲ以テ在京  
佛大使ヨリ我方、注意ヲ喚起シ越ニ更ニ昭和  
十三年一月二十四日附及同六月二十五日附並ニ同  
七月二十五日附公文ヲ以テ新南郡島、領有權

817A

ヲ主張ニ束しニ付我方ハ其ノ態度強硬ニ其  
主張ヲ反駁ニ佛ノ領有權ヲ否認セリ一方佛蘭  
午二年末軍艦ヲ長島ニ派遣シ佛ノ先占ニ紀  
念碑ヲ再建シタル外十二年四月ニ今更ニ艦ヲ  
島ニ派シ下ツテ七月十二日佛高船ヲ同島ニ遣  
人(巡查)及安南人ヲ上陸セシメ且各種材料ヲ建  
揚シテ無線電台ヲ構築セリ

右ニ對シ我方トシテ八月九日帝國軍艦勝利  
島ニ急派シ佛ノ先占紀念碑ニ對抗スルヲ群島  
帝國トノ關係ヲ刻ル紀念碑ヲ建立スルト共  
台灣ヨリ巡查ヲ同島ニ送り一方在佛大使ヲシテ  
人巡查及安南人ノ同島撤退施設ノ撤回ヲ嚴  
重申入ルニタリ

(六) 新南郡島領有權主張 必要及其ノ次ニ  
新南郡島ニ對シテハ帝國トシテハ佛ノ主權主張  
極力否認スルト共ニ他方同島ヲ事實上占有ニ  
側ニ對抗ニ乘リタルニ積極的ニ同島ヲ日方ノ領  
有ナリト主張シタルコトナシ

166

然ルニ佛國側カ前記ノ如ク軍士ル形式上ノ免  
占宣言ヨリ一步ヲ進メ軍艦派遣、記念碑、  
建立人及船、派遣、永久的施設、構築等、舉  
ニ出テ現状ヲ破ツテ佛側主張ヲ強化セントスルニ至  
リタルヲ以テ我方ハ之等ノ撤退ヲ要求セルモ佛側ハ  
之ニ應ヤス茲ニ於テ我方モ本問題、有利解決  
ノ爲ニ從來ノ態度ヲ改メ同郡島ノ領有權  
ヲ正式ニ主張スルノ必要認ムラルヲ以テ十二月二十三日  
帝國カ同郡島ニ對シテ有スル權限ニ基キ之ヲ  
其領土ニ編入スルコトニ國議決定シ同二十一日法律  
ヲ經タリ

(七) 新南郡島ノ主ナル島嶼名左ノ通り

新名稱	(讀ミ方)	新名稱	(讀ミ方)
北二子島	キタフタジマ	龜甲島	キツコウジマ
南二子島	ミナミフタジマ	南洋島	ナンヨウジマ
西青島	ニシアオジマ	長島	ナガジマ
三角島	サニカクジマ	北小島	キタコジマ
中小島	ナカコジマ	南小島	ミナミコジマ



817A

新 名 稱 (讀ミ方)

飛 鳥 島 アスカジマ

西 鳥 島 ニトリジマ

九 鳥 九ルミ

尚新南郡島、右、外<sup>左</sup>記地、東ヲ結フ、是域内、金島<sup>嶼</sup>ヲ含ム、トス

北緯 十二度 九度三十分 八度 七度 七度

東經 百十七度 百十七度 百十六度 百十四度 百十一度三十分

北緯 九度 十二度

東經 百十一度三十分 百十四度

# 新南郡島問題年代略左ノ通

一 大正七年五月—九月 邦人小松、池田ノ兩名郡島ヲ發見

一 同 年十月七日 神山橋本名儀ヲ以テ發見諸島、帝國  
版圖編入乃外務大臣ニ願出

一 同 年十二月翌九年正月「ラサ」島燐礦株式會社ヲ一次探險

一 同 九年五月 齊岡孫外二名南郡<sup>嶼</sup>ヲ發見

一 同 年十二月 「ラサ」燐礦株式會社ヲ二次探險

一 同 十年四月 「ラサ」燐礦株式會社ヲ右帝國領  
ニ編入乃ニ付非公式ニ外務省、海軍省  
ニ意見ヲ求メ果ル

No 8



817 A

- 一 同 齊條外二島才二回調査
- 一 同 年六月 「ラサ」燐礦「イツアバ」島ニテ事業ニ着手
- 一 同 十二年 「ラサ」燐礦南双子島ニテ事業ニ着手
- 一 大正十三年二月 齊條外二名郡島發見願ヲ海軍火路館長ニ提出
- 一 同年九月十日及翌十三年末調査地探險
- 一 昭和五年三月 齊條外二名、鈴木至二名儀ニテ外務大臣宛領有方陳情
- 一 同年四月 「ラサ」燐礦不況ノ爲引上
- 一 同年 軍艦膠州測量ノタメニ至ル
- 一 昭和六年七月十三日 巴里電通通信
- 一 同年 七月十八日 亞細亞局長、沢田參事官合談
- 一 同年 七月二十四日 佛政府ヨリ新南群島正式佔領ヲ通告
- 一 同年 七月二十五日 佛國官報 七月二十五日附外務省官報ニ  
公示通告
- 一 同年 八月四日 外務次官、長岡大使會談
- 一 同年 八月十五日 我方回答團議決定

169

819 A

一 同 年 八 月 十 九 日 沢田代理大使佛先占不承認并一次申入

一 同 九 月 二 日 極東部長、沢田会談  
政務通商局長、沢田会談

一 同 十 月 九 日 極東部長、沢田会談

一 同 十 月 十 一 日 政務通商局長、沢田会談

一 同 十 月 十 二 日 外務大臣(ボック)佐藤大使会談

一 同 九 年 三 月 十 八 日 外務次官、佐藤会談

一 同 十 年 軍艦龍田長島ニ投錨シ、石碑ヲ地中ニ埋ム

一 同 十 年 台湾住人平田總督府援助ノ十二「イ」  
島ニテ漁業開始無電發信設備設置

一 同 十 二 年 海軍測量艦屢々同乃面測量ニ赴キ長島ニモ投錨セリ

一 同 十 三 年 十 月 四 日 佛國通報艦「イ」島入港、牛谷大佐ニ通告又々交牛谷ヨリモ我方態度ヲ示セル又書ヨリ更

一 同 同 佛先占記念物再建設

一 同 十 月 六 日 通報艦出港

461

819A

- 一、同 十二月七日 佛外務次官、杉村大使會談
- 一、同 十二月九日 在京佛大使公文申入
- 一、同 十二月十四日 佛參事官、井上陸軍局長會談
- 一、同 十二月二十日 我方公文回答
- 一、同 一月十五日 在京佛大使才二次公文申入
- 一、同 二月四日 佛參事官、陸軍局長會談
- 一、同 二月八日 佛大使、堀内次官會談
- 一、同 十二月二十一日 我方才二次公文回答
- 一、同 四月十日 佛軍艦才三回長島來港、回答僅便
- 一、同 七月二十二日 佛商船入港、安南人上陸、薪料隱匿、  
施設構築ヲ始ム
- 一、同 七月二十五日 在京佛大使才三次申入
- 一、同 八月九日 帝國軍艦勝利丸入港、撤退  
交渉
- 一、同 八月十一日 同十九日、二十六日、杉村大使より佛參事  
官ニ佛人撤退ヲ嚴重申入
- 一、同 八月十九日 在京大使覺書提出
- 一、同 八月二十二日 我方才二次回答

4611